

Title: 「Back home」



中村 創太
1979年生まれ、三十路です。帰って来てから10キロ弱太りました・・・

● 最近のエントリー

- ☐ [The way back home](#)
(2008.09.19)
- ☐ [お後がよろしいようで・・・\(9月12日、コルカタ\)](#)
(2008.09.12)
- ☐ [生存証明 \(9月8日、シリギリ\)](#)
(2008.09.08)
- ☐ [『メイクドラマ』\(9月5日、ダーズリン\)](#)
(2008.09.08)

● アーカイブ

- ☐ [2009年12月](#)
- ☐ [2009年11月](#)
- ☐ [2008年09月](#)
- ☐ [2008年08月](#)
- ☐ [2008年07月](#)
- ☐ [2008年06月](#)
- ☐ [2008年05月](#)
- ☐ [2008年04月](#)
- ☐ [2008年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

[Back Home](#) > 2008年09月 アーカイブ

08.09.19

The way back home

[Tweet](#)

[Check](#)

『良かったのかな？これで』
それが独りでコルカタの空港を出発して、
すでに日本語が飛び交っているバンコクの空港に着いた瞬間から思っていた事。

釜山から船に乗るときも、
何をどう言えば良いのか分からなかった。

新幹線が新横浜を過ぎて高層ビルが建ち並べば、
もう少し感傷に浸れるのかと思ってた。

『滞ってきちゃった』と、
品川駅の廊下で舌打ちした。

『こんなにも呆気無かったらうか』と、
故郷の景色にがっかりした。

勿論久しぶりの誰かと話す事や、
ちょっとした変化の新鮮さに触れる事は凄く嬉しいけれど、
『遠ざかってしまった事』が頭から離れない。
散々人に迷惑や心配をかけても、結局何にも変わりはない。

この旅の中で『戦う』ということの意味を知って、
じゃあ『戦い続ける』のはどれだけ難しいのか？という次の疑問。

6ヶ月はやっぱり長い時間だったらしいから、
まだ何も終わらせられやしない。

でも、とりあえずただいま。

カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.19 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年09月 アーカイブ

08.09.12

お後がよろしいようで・・・(9月12日、コルカタ)

[Tweet](#)

[Check](#)

シリギリ滞在中は山のダメージが鼻に来てしまい、
撮影も今ひとつ乗れませんでした。・・・
結局不完全燃焼のまま昨日コルカタに到着し、
今日、最後の1カットの撮影を終えました。
後は明日と明後日移動をして、韓国釜山に辿り着いてしまえば、
個人的な海外フィールドワークは終わりを迎えます。
(詰めめの甘さは相変わらずです)

でも感想についてはまた次の機会に。
なにしろまだ撮影を頑張っている連中がいます。
そして『鉄の箸で久々の牛を食う』という大事な仕事も残っていますから。・・・

そこどころ、めでたく復活を果たされた引率1号様、
よろしくお祈いします(笑)
そして撮影中の皆へ、
残念ですが最後は迎える側にまわらせてもらいます。
最後の一踏ん張り、どうか頑張ってください！！

カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年09月 アーカイブ

08.09.08

生存証明 (9月8日、シリギリ)

[Tweet](#)

[Check](#)

さてと・・・、山を降りてやっとブログが見れるし、あげられる環境が出来ました。
 まずは、
 『無事、生きてます』
 そんなで、
 『他の連中は何してんだろ?』
 とか、
 『色々あったのに誰にも言えねえ・・・』
 というのはなかなか虚しいもんです。

いつもブログを見て下さっている皆様、
 本当にありがとうございます。
 皆様のお陰で頑張れております。
 そう言う訳で溜まりに溜まった独り言のようなブログ(とストレス)、
 一気にアップさせて頂きました。

現在地は『ダーズリンとどれだけ気温差があるんだ?』
 と考えずにはられない山の麓の『シリグリ』。
 おそらく20度はかたいと思われます。
 (嘘、実際は15度でした)
 まあ寒いよりは暑い方が体は動くし、湿度が無ければその方が断然好きなので良いんですけど・・・。



結局通算で1月半、フィールドワークの4分の1をインドという国で過ごしている事になり、
 付き合い方もちょっと変わったような気がします。
 それでもこの馬鹿でかい国に慣れたとは言えませんが・・・。
 気の小さい僕には『不良』になってまでインドに行く君島先輩の気が知れませぬ(笑)
 明日、明後日この街で撮影をしたら11日には4度目のコルカタへ向かいます。

カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年09月 アーカイブ

『メイクドラマ』(9月5日、ダーズリン)

[Tweet](#)

[Check](#)

170日目にして最高の出来事が起こりました。

最初に今更ながら告白すると、今回撮影をしているダーズリン=ヒマラヤ鉄道、実はダーズリンに滞在中は土砂崩れの為に全線での運行が出来ず、ダーズリンからこの間滞在したカルシャンまでしか運行していませんでした。

先ずインド入り直前にその情報をホームページから得て、
 『9月1日運行再開予定』というホームページの怪しい言葉に敢えて賭け、
 『もしかして実はもう普通に動いてたりするんじゃないの?』という甘い考えの下、
 そして6月、ダーズリンに行けなかった事へのリベンジと意地を通すべく、
 山の麓からダーズリンへ向かうつもりだった予定を急遽変更し、
 最初にダーズリン入りをして出来る撮影を続けながら列車の再開を待っていた、
 というのが語らなかった今までの実情です。

そして9月1日にダーズリン駅の切符売り場で、
 『鉄道でシリグリへ行きたい』
 『カルシャンまでの列車しか今は運行してないよ』
 『・・・、じゃあ6日は?』
 『それは6日の朝にトライしてくれ(笑)』
 『ああそう(笑)』
 というやりとりをした後は、現実的な『妥協プラン』を練っていました。

しかし今日の朝・・・、
 とりあえず最後に『ジョイ・ライド』という観光専門の短い往復路線で予備の撮影をしようと切符を買った時の事。

『明日のシリグリまでの列車は動かないの?』
 と、いつもの駅員に駄目元で聞いてみると、
 『うん、明日は動くよ。』
 というあっさりした答え。
 『マジで!!!!!!』
 『明日の8時にここへ来てくれ。』
 思わず拳を握りしめて、
 『いよおし!!!!!!』

既に顔馴染みになっていたせいか、
駅員もニヤリとしながらその真似をしてました（笑）

思っきり羨な目に遇った後で、
アクシデント続きのこの旅の中でも、
最高に嬉しいアクシデント。
諦め切れなかったからこそ起きる、
旅中の幸運がようやく降ってきました。
そんな興奮状態の中、
今回タイトルにした言葉を唐突に思い出しました。
それは何故・・・？
9月だから・・・？



色々あったけれど明日、ダーズリンを旅立ちます。
行きは仕方なくジープで出発した街『シリグリ』を、
帰りは計画通りに鉄道で目指します。
鉄道での撮影はこれが最後です。

カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

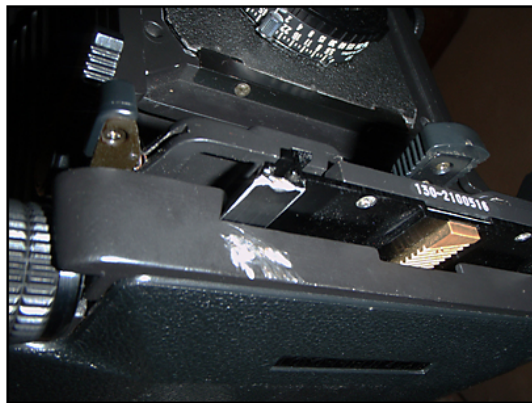
[Back Home](#) > 2008年09月 アーカイブ

9月4日、ダーズリン

[Tweet](#)

[Check](#)

今までの中でも最高だと思える場所で、
今までの中でも最高だと思える構図で、
今までの中でも最も沢山のシャッターを切って、
直後にカメラが地面に落下するスローモーションを見たのは昨日。



168日目にして最低の出来事が起こりました。
幸い彼は十分に戦えるようです。
僕もまだ動けそうです。

カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年09月 アーカイブ

9月2日、ダーズリン

[Tweet](#)

[Check](#)

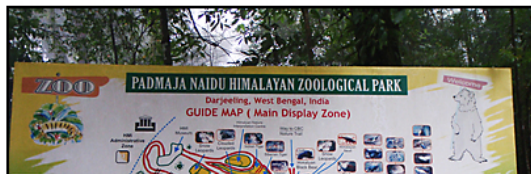
昨日カルシャンからダーズリンに戻って、
今日はダーズリン撮影の為のロケハン日。
けれど朝から街の雰囲気少し違っていたので、
いつも親切してくれるホテルのおじさんに、
「今日は何の日」と聞いてみると、
「既婚の女性達の為のインドのお祭りだ」と教えてくれたので、
「それじゃあ振らない訳にもいかないか」と急遽予定を変更して午前中は撮影。



午後はデジカメだけ持って街をうろつきました。
4x5のロケハンにコンパクトデジカメは本当に欠かせません。
オリンパス様、いつもお世話になっております。



ブラブラして1カ所の撮影ポイントを見つけた後、街のはずれで動物園を発見。
きっとロケハンにはならない雰囲気。





『あなたならば入りますか？入りませんか？』



・・・、普通でした。



明日も少しロケハンしないと・・・。

カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

インドの茶畑で愛？を囁かれる（8月31日、カルシャン）

[Tweet](#)

[Check](#)

珍しく陽が射しているものの、
相変わらず気付けばすぐに霧に包まれてしまう撮影最終日のカルシャン。
ここに居る間にどうしても撮らなくてはいけないものは、
街の裾野に広がる一面の『茶畑』。
もうこれ以上はホテルでのんびりしている場合でもなく、
カメラをセットしてから霧が晴れるのを待ってでも撮影するつもりで
4×5を持って街へ繰り出しました。

目星をつけていた街全体が見渡せる茶畑へ直行。
どのポイントで撮影しようかと畑の周りをウロウロしていると、
背後の民家から僕を呼び止める声。
近づいて行くと、ニコニコして手を振っているおじさんが、
「この写真を撮っているのか？よし！来い！！」
とおじさんの自宅の2階のベランダへ迎え入れてくれました。
けれど構図を決めあぐねて、ぐずぐずしているうちにまた街に霧がかかってしまい、
おじさんもこんなに時間がかかるとは思わなかったのか、そわそわしていたし、
目の前の電柱がどうしても気になってしまったので、そこでの撮影は結局断念。

下へ降りてダージリンのチャイをご馳走になっておじさんとのんびり話をして、
当然のごとく撮影時間よりも長い『自宅自慢』を聞かされて、
最後に「今度カルシャンに来る時は家へ泊まりませい」と言って頂き、
撮影は出来ませんがとても穏やかな時間を過ごせました。
ダージリンはインドではあるけれど、
色んな意味でネパールに（行けなかったけれど多分テベットにも）
近くて穏やかな方が多いです。
ちなみにおじさんはインド軍人なんだそうです。
おじさんどうもありがとう。



結局またしばらく霧が晴れそうになかったので、
霧の中でも撮れる場所の撮影をして時間つぶし。
けれど、いざシャッターを切ろうとしたら
今度は晴れなくて良いのに霧が晴れてしまったので、
撮影を終えて急いでもう一度茶畑へ。

今度は直接茶畑の中へ降りてみました。
また霧がかかってしまいそうだったので
急いで4×5を立てて、とりあえず1カットを撮影。
『もう少し下へ降りてみたいな』と下の方に目をやると、
茶畑の奥、霧の中から静かに『彼』が現れました。

両手首を横に反らしたルンルン状態で僕の方へやってきます。
どう見てもあからさま過ぎます。
一応いつもの4×5の撮影中と全く同じように挨拶をして、
撮影をしても良いかと了解をとって、
この辺りが良いかなあとカメラをセットしてシャッターを切ろうとすると、
そんなタイミングで完全にかかってしまった霧・・・。
『やれやれ』と思っている僕の横にちよこんと座って、
『彼はキーマンだ・・・』とか一人でゴニョゴニョ呟いている『彼』。
・・・。
ここまできたら霧が晴れるのを待つ事しか出来ず・・・。
そんな状況で『彼』と会話をしないというわけにはゆかず・・・。



「どこから来たの？」
「ジャパン」
「名前は？」
「そーた、なかむら」
「歳は？」
「28」
「僕の名前はドジー」
「へえ！ドジーか！」
「・・・」
「あなたの歳は？」
「28だよ」
「ああ、一緒か」
「うん」
「・・・」
「君はネパール人に見えるね」
「ああ、よく言われる（インド人に）」
「君はブディスト？」
「まあ、そうだね」
「僕もブディストなんだ」
（握手する僕と『彼』）

「・・・」
「私、『女』なの」
「（でたよ・・・）、うん、わかってる」
「どう？」
（指をくわえて上目遣いでこちらを見ている『彼女』）
「No!!!!」
「ねえ、好きでしょ？」
「俺は女が好きだ、No!!」
「私、『女』よ？」
「だからさあ・・・」
「嫌い？」
「嫌いです!!」



晴れてくれない霧。
トボトボと独り、丘を下りて行った『彼女』。
意地でもここで目的を果たさず気になった僕。

15分経過。
だんだん怖いものに思えてきた霧。
こちらを霧の中から伺っている『彼女』。
そちらを見ないようにして煙草を立て続けに吸い続ける僕。

30分経過。
薄くなったり濃くなったりしている麗しい霧。
見えたり隠れたりしている遠くの『彼女』。
しゃがんだり立ったりしてやっぱり煙草を吸っている僕。

1時間経過。
とうとう現れた霧の向こう側の景色！！
思い切りシャッターを切り続ける僕！！
さっきより確実に近づいている『彼女』！！

そばに寄って握手を求めつつもりは無く、
カメラを片付けてその場で「じゃあな」と手を振って・・・
去り際に見たのは『彼女』の小さな昔々と美しいカルシヤンの風景。





さあ！！183日間の海外フィールドワーク、いよいよクライマックスです！！



カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年09月 [アーカイブ](#)

8月30日、カルシヤン

[Tweet](#)

[Check](#)

『Kurseong (カルシヤン)』という街に居ます。
ダーズリンから南へ30Kmの所にある場所で、
そこから四方にある街へジープタクシーで向かう為のターミナルのような所になっているせいか、割と賑わっています。



斜面に茶畑が広がっていて、滝なんかも流れていて素敵な眺めですが、
大概いつも街は霧の中。



ダーズリンはもう少し視界が良好でしたが、
少し標高の低いところは完全に雲の中にあるらしく、
小さな街の全景を把握するだけで1日半掛かりました。

撮影を始めてはみたものの、完全な天気任せ。
霧の晴れ間にホテルからカメラを持って外に出てちょっと撮影。
一息つこうとひとまずホテルへ戻ったらその直後には街はまた霧の中へ・・・。





太陽を待ちながら、ブログの文章を書いています。
・・・、そしたら夜になりました。

2度目のマレーシアを経て、改めて『出来ていなかった事』を思い知らされ、
今日再び撮影を始めて、それを打開する難しさと自分の甘さを思い知らされ、
正直、今はもうトップギアとかではないです。

もう時間はありません。どんなギアでも前には進まない。
この5ヶ月で学んだ事は『やれば必ず状況は変わって行く』という事ですから。

カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年09月 [アーカイブ](#)

リベンジ開始 (8月27日、ダーズリン)

[Tweet](#)

[Check](#)

8月25日の午前4時半、相変わらず振り返る余裕なんてほとんど無かったスクーリング施設を出発。

1回目と同じ飛行機でクアラ・ルンブール国際空港からインド、チェンナイ空港へ。
(ウォンさん、きちんと挨拶が出来なくて申し訳ありません。今回も色々とお世話になりました。
またいつかお会い出来る日を楽しみにしております。)

もう馴れっこな感じでチェンナイの空港で1時間遅れた飛行機に乗り換えて、



その日の夕方に大嫌いなはずの Kolkata に3度目の到着 (次回で4回目)。



何だか『すげえ嫌』から『時と場合によってたまに嫌』くらいまでに僕の中で格上げされた気がする2ヶ月振りのインド。

翌日の昼に Kolkata 空港を出発。
そこから北へ1時間のバグドグラ空港に到着。
タクシーに乗ってさらに北へ1時間、
シリグリという街のジープターミナルへ。

「これはカメラだから屋根には積めないよ。」
ということで2人分の料金を払ったのに、やっぱり10人の乗客 (運転手と車掌を含めて12人) を無理矢理乗せるまで走り出さなかったジープタクシー。
ジープタクシー、8人乗りのワゴンにしか見えないギアの壊れたジープタクシー・・・。
アスファルトは落石にはがされてでかい岩がゴロゴロむき出し状態で、
進んで行くのは当然うねりっぱなしの山道で、
最初はちょこんと僕の席の半分分のスペースに無理矢理座っていた車掌が、
揺れて体が浮き上がる度に少しずつこっちに陣地を広げていて、いつの間にか立場が逆転。
『尻が痛い!!』
しばらく経ってからトイレ休憩のおかげで仕切り直し。
その後は段々体重移動の『コツ』を掴み反撃開始
をしたら乗客が降り始め奴が席を動いた後は目が合って気まずい苦笑い・・・。
そんな感じで3時間半、空気が薄くて目眩がして、やばいと思うくらい寒くなりだした頃 (最高気温で20度)、標高2100メートルのダーズリンに到着。

『この旅の始まり』で、この旅の唯一の目的地だった『ダーズリン』
来る前の天気予報の確率は毎日95%の雨。
でも、



降っていたのは雨ではなくて雲でした。



カテゴリ：
post by 中村 創太 | 日時: 2008.09.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)